

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2005-176265(P2005-176265A)

【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2003-417173(P2003-417173)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 P

H 04 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月12日(2006.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

それぞれ記録媒体の接続が可能な第1および第2の媒体接続手段と、
 画像データを取得する画像データ取得手段と、

前記取得した画像データを前記第1の媒体接続手段に接続された第1の記録媒体および
 前記第2の媒体接続手段に接続された第2の記録媒体のうち一方に記録する第1の記録処理と、前記取得した画像データを前記第1および第2の記録媒体の双方に記録する第2の記録処理とを行う記録手段とを有し、

前記記録手段は、前記第2の記録処理を行うときは、前記第1および第2の記録媒体のうち少なくとも一方に、前記取得した画像データとともに該画像データが前記第2の記録処理で記録されたことを示す情報を記録することを特徴とする電子機器。

【請求項2】

前記第1および第2の記録媒体に記録された画像データを再生して出力する出力手段を有し、

該出力手段は、前記記録された画像データとともに前記情報を出力することを特徴とする請求項1に記載の電子機器。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の電子機器が、被写体像を光電変換する撮像素子を有する撮像装置であり、

前記画像データ取得手段は、前記撮像素子を用いて画像データを取得することを特徴とする電子機器。

【請求項4】

それぞれ記録媒体の接続が可能な第1および第2の媒体接続手段と、

前記第1の媒体接続手段に接続された第1の記録媒体と前記第2の媒体接続手段に接続された第2の記録媒体のうち一方に記録された画像データを他方にダビングするダビング動作が可能な記録手段とを有し、

前記記録手段は、前記ダビング動作を行うときは、前記第1および第2の記録媒体のうち少なくとも一方に、前記画像データがダビングされたものであることを示す情報を記録

することを特徴とする電子機器。

【請求項 5】

前記第1および第2の記録媒体に記録された画像データを再生して出力する出力手段を有し、

該出力手段は、前記記録された画像データとともに前記情報を出力することを特徴とする請求項4に記載の電子機器。

【請求項 6】

請求項4又は5に記載の電子機器が、被写体像を光電変換する撮像素子を有する撮像装置であり、

前記記録手段は、前記撮像素子を用いて得られた画像データを前記第1および第2の記録媒体のうち少なくとも一方に記録することを特徴とする電子機器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子機器

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、複数の記録媒体を接続することができる電子機器に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

そこで、本発明は、画像データのバックアップの有無を使用者が容易に認識できるようにした電子機器を提供することを目的としている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

12eはAFモードの状態を表示する指標であり、12fはドライブモードの状態を表示する指標である。12gは露出補正量をドットにて表示する指標であり、1ドットは1/3段を表している。12iは電源電池35の残り容量の目安を表示する指標であり、12jは測光モードの状態を表示する指標である。